

たくさんのご参加
ありがとうございました！

幼保小連携研修を行いました

6月4日（水）に幼・保・小・義務教育学校合同による幼保小連携研修（オンライン）を行いました。

構成を変え、架け橋期のカリキュラム作成に向けた協議をメインとした今回の研修。お互いの教育・保育を語り合う中で、多くの気づきがあったようです。

保育園・幼稚園・学校それぞれの考える教育方針はあれど、子どもの成長は園や小学校ごとに途切れているのではなく、一貫して続いているんだと改めて考えなければいけないと感じた。

架け橋期のカリキュラムを作成し、取り組んだ後の子どもの様子が、以前とは明らかに違うことを具体で小学校の先生から聞くことができ、取組の意義を感じた。

1年担任だけが園と関わるのではなく、全学年・中学校とも連携できれば、もっと相模原市の教育に縦と横のつながりができるのではないかと期待したい。

幼保小のつながりを意識した保育が、子どもたちの豊かな体験を生み出し、安心感や主体的・対話的で深い学びの実現につながることを実感した。

園も小学校も忙しい中で幼保小連携を実現するには、お互いの理解と歩み寄りの気持ちをもつこと。

毎年担当が変わると引継ぎが上手いかず、継続性がないことを課題と思っていた。年間計画にしっかりと位置付けていくことが大切。

お互いに、どんな場所でどんなことを行っているのかを知るだけに留まっていると感じた。そこも大切だが、もっと学び方について一緒に考えていきたい。園での学び方を1年生につなげていく必要がある。



架け橋期のカリキュラム完成まではまだまだだが、こうやってお互いに顔を合わせること、話すことに意味があった。もっと保育を高めていきたいと新たな気持ちになった。

幼保小連携は、子どもたちの円滑な接続だけではなく、大人が共通の目指す子どもの姿に向かって、共に考え、共に成長を支えていくためのつながりの土台だと気づいた。同じ目標に向かって連携することで、より一層取組が充実していくため、こういう場を大切にしたい。

小学生になるにあたって、様々なギャップがあると感じた。協議でそれを知ること、実際に園の様子を知ること、学校の様子を知ってもらうことが必要だと気づいた。

園での学びが今、子どもたちのこのような姿に反映されているということを実感した。

園に集合しての協議、園同士の交流、架け橋期カリキュラムプロジェクトチーム結成など、新たな取組を始めることを決めた地区が多くあるようです。そんな各地区の様子を紹介できたらと思います。ぜひ、幼保小連携担当へお声がけください。